

テーマは「夢見る水の惑星」 自然から離れてしまった人間へ警鐘を鳴らす！
人間本位の社会から再び地球とつながるための道とは？

マス・メディアには載らない本当の情報がここにある！

『ザ・フナイ』vol.145

(連載者) 船井勝仁、副島隆彦、ベンジャミン・フルフォード、船瀬俊介、飛鳥昭雄、安西正鷹、洪澤健
(価格) 1528 円＋税 (発売日) 2019 年 10 月 3 日 (発行) 船井本社 (発売) ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役: 唐津隆)は、『ザ・フナイ vol. 145』を
2019 年 10 月 3 日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

◆ 夢見る水の惑星 海を渡り命の種を運ぶ冒険

人間も自然の子であり、自然の摂理に従っていきることこそが「本物の生き方」に近づく道であると船井幸雄は考えていました。本物は単純で調和がとれ、しかも万能であるといいます。本物は質素であり、それでいて暖かく、愛に満ちています。自然が与えてくれる「愛」を受け取れる私たちがでありたいですね。

今号では、「星の意思」を感じ、時代とともに忘れられていた最古の船である「葦船」でエンジンや舵を使わない“自然に委ねる旅”を続けている海洋冒険家の石川仁さんに、人が再び自然とつながるには何が必要か、取り戻すべきところを教えてください。新しい、葦船太平洋横断プロジェクト「エクスペディション・アマナ」に関わるチャンスも！

その他、豪華執筆陣による、まだ広く知られていない諸分野の先駆け情報を、様々な視点からお届けします！



【本書の構成】

特集: 夢見る水の惑星 海を渡り命の種を運ぶ冒険

① 石川仁 (ONE OCEAN 代表理事) 『葦船を通じて自然と再びつながる旅路』

連載: 副島隆彦 (評論家、副島国家戦略研究所 <SNSI> 主宰) 「誰も書かない世の中の裏側」／ベンジャミン・フルフォード (フリージャーナリスト) 「新しい時代への突入」／船瀬俊介 (地球環境評論家) 「マスコミのタブー200 連発」／飛鳥昭雄 (サイエンスエンターテイナー) 「情報最前線—未来への指針」／安西正鷹 (『みち』論説委員) 「お金の謎に迫る」／洪澤健 (コモンズ投信株式会社社長) 「変化を捉える価値視点」／金原博昭 (オリオン形而上学研究所代表) 「エジプトの謎 第一のトンネル」／増田悦佐 (経済アナリスト・文明評論家) 「“主義”の没落と“もどき”の興隆」／加藤鉦 (ジャーナリスト) 「ぼくらは絶対現金主義……キャッシュレス社会は監視社会と同義語である！」ほか多数！

【お問い合わせ先】

株式会社ビジネス社 広報担当: 松矢 千 162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail: matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。